

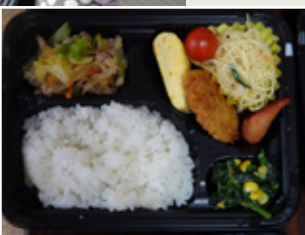
こども食堂の紹介

現在、市内で活動されているこども食堂を紹介します。

ときわぎキッチン



- ・活動地域：
大宇陀地域
- ・月1回活動



子どもたちに笑顔と元気を

みんなで楽しく食事ができる地域交流型の「こども食堂」です。単に食事を提供するだけでなく、生きる喜びを味わうことや物を大切にすること、仲良く助け合うことをテーマに活動しています。学習支援にも力を入れており、開催日は子どもたちの笑顔であふれています。食品衛生管理者が常駐し、衛生面、安全面に十分配慮しながら、みんなの真心が寄り集う温かい居場所作りを目指しています。



ホームページ

地域の居場所づくり

地域の子どものコミュニティとしての居場所づくりを第一に考えています。菟田野中学校区の子どもは誰でも参加することができます。教師の参加もあり、子どもたちが抱えている悩みや家庭環境を把握することなどで、学校と地域が連携し子どもたちを育む機会のひとつになるよう、取り組んでいます。

※現在、コロナ禍で休止しています。

山の子キッチン



- ・活動地域：
菟田野地域
- ・月1回活動

榛原スマイルこども食堂



- ・活動地域：
榛原地域
- ・年6回活動



子どもたちのスマイルを

近年少子高齢化が急速に進み、子ども同士のつながりが希薄になっています。そのため、子どもたちの交流場所、居場所づくりを目的として、同級生を中心とした約20人の有志が集まり活動しています。スタッフは、子どもたちのスマイル(笑顔)からパワーをもらっています。

※現在、コロナ禍で休止しています。

つながれ！こども食堂

こども食堂って、なに？



こども食堂は、地域の大人たちが、こどもを真ん中にした居場所をつくる取り組みです。あたたかなご飯を囲み、地域みんなでこどもを育んでいく場として広がっています。だんだんと顔が見える関係ができることで、こどもとおとな、こどもとおとな、おとなとおとな、世代や役割を超えて混ざり合い、お互いに気にかけて合う関係ができる、つまり地域づくりにもつながります。活動も名称も多様ですが、「こどもを真ん中に」という思いを大切に、創意工夫をしながら取り組んでいます。あたたかなご飯があり、こどもが大切にされ、安心できる地域の居場所がある、それが「こども食堂」なのです。

問 こども未来課 (☎ 82・2236 / IP ☎ 88・9088) (○)

こども食堂は地域の居場所づくりです



4月7日、市長と市内の「こども食堂」を運営されている団体の代表者および、関係者が意見交換会を行いました。コロナ禍で、不安や戸惑いを感じながらの活動や、運営上の課題を多く抱えていることなど共感できる意見交換会となりました。

市内で、「こども食堂」がさらに普及し、子どもや保護者、地域の方々が身近な居場所として参加できる施策として、継続的な支援を行います。

【市長】子どもの時に、しっかり食べる事が大変重要であり、一生にわたって健やかに生きていくことができる基礎になると考えています。市内に「こども食堂」を充実、普及させるため、何が必要なのかご意見をお聞かせいただきたい。

◆それぞれの実績・特色は？
7、8年前から子どもたちに「互いに助け合う喜びを実感してほしい」との思いで地道な活動を続けてきま

した。そのノウハウを生かし、昨年4月からは「こども食堂」として新たな取り組みをはじめました。しかし、コロナ禍で子どもたちを集めることは困難となり、現在はボランティアと共に毎月「心のこもった手作り弁当」を配っています。保護者からは喜びのメッセージも多数寄せられています。



◆昔は、「もう食べたか？」が近所の方の子どもへのあいさつでした。つながりが非常に強く、地域で子育てをしていました。

◆1年半前から、同年代で集まっていた人々とふれあうことを目的にこども食堂を開始しました。昔は、3世代同居が当たり前でしたが、今は人と人の関わりが薄れてきているように思います。子どもを通して地域のつながりを大切にして行きたいと思っています。ボランティアの皆さんは、楽しみながら参加されています。みんな笑顔になれるような居場所づくりを目指していきたいです。



◆お金の貧困だけではなく、つながりの貧困が現在の社会問題ではないでしょうか。こども食堂は生活困窮のイメージがありますが、あらゆる子どもにもオープンで、「子どもと子ども」「子どもと大人」「大人と大人」の垣根を超えたつながりづくりの場でもあります。ご飯を食べてみんなつながることが「心の栄養」になります。現在コロナ禍で自粛しているところが多いですが、しっかりとサポートしていきたいです。



◆活動の苦勞や目指す姿は？
コロナ禍で本来目指していた活動ができなくなったことです。しかし、手作り弁当を配る中で、新たな



出会いとつながりができるようにしました。今後はSNSを利用して個々の支援活動にも力を入れていきたいと考えています。

◆苦勞していることはスタッフが少ない、若い子たちが着目してくれないことです。食事の準備に時間をとられ、子どもと遊ぶ時間や話しを聞いてあげる時間がないことが残念です。

◆活動を開始するにあたり随分苦勞しました。もっと実績を積みたいのに現在コロナ禍で活動ができません。食材は知り合いが提供してくれています。蓄えた知識で活動を広げ、「宇陀はイイトコロ」を広めたいです。

◆今までの信用信頼もあり、若い（20代、30代）スタッフ

フも多く集まっています。みんな子どもを育てていきたい。もっと市民へアピールして協力者を増やしたいと思っています。

◆今後の支援に期待することは？

◆行政のバックアップがあればなお心強いです。協力体制も構築できるので、地域のため活動していきたいです。

◆力を貸してくれてうれしいです。これからもサポートをよろしく願います。

◆学校でもぜひ「こども食堂」の輪を広めてほしいですね。



こども食堂をサポートします！

市の支援

宇陀市こども食堂運営支援事業

今年度からスタート！

市では、食事や学習、地域住民との交流などを通して子どもが安心して過ごせる居場所づくりを進め、子どもたちの育ちを支援し、地域全体で見守る環境の充実に目的として、こども食堂などの活動に取り組む団体に対し、活動にかかる経費の一部を助成し、運営を支援する取り組みを実施しています。

県の支援

奈良こども食堂ネットワーク

「こどもを真ん中に」という思いを大切に、県内でこども食堂に携わる活動者が集い、お互いの状況などを共有できる交流会を行い、困りごとを相談する場です。

奈良こども食堂
ネットワークHP



奈良県社会福祉協議会 地域福祉課
奈良県こども食堂ネットワーク事務局
(☎ 0744・29・0100)

こども食堂コーディネーター

こども食堂に関する様々なお問い合わせに対応します。

はじめる【開設】

こども食堂を立ち上げたい！

・運営ノウハウなどの情報提供

つづける【継続】

運営上の悩みを相談したい！

・助成金などの情報提供

ひろげる【継続】

こども食堂を応援したい！

・運営者と支援者とのマッチング等